

新聞への作文の掲載、続いています

2学期も継続している新聞への作文の投稿。各学年とも意欲的に投稿すると、10月も下記のように5作品が掲載されました。さすが、松田っ子ですね。

努力を重ねて夢をかなえたい

6年 仲村渠大也

ぼくは、職場見学で、珠梨さんのお母さんとお父さんの仕事場、宮里グリーンサービスに行きました。宮里グリーンサービスの方たちは、植物と花を育てて、それを売る仕事をしています。山に囲まれていて、滝も流れていて、自然豊かでとてもきれいな場所でした。

そこで、ぼくは学んだことがあります。それは、努力することです。

なぜなら、宮里グリーンサービスの社長、宮里文夫さんは、小、中学校を卒業して、北部農林高校を卒業して、東京の大学も卒業して、他の仕事に10年つき、今、宮里グリーンサービスで働いているそうです。高校や大学を卒業して、努力をしたから今があるということを学びました。ぼくも、努力して夢をかなえられるようにがんばりたいです。

(沖縄タイムス 10月15日掲載)

ちびっ子ずもう

2年 は名しろみゆう

日曜日に、松田こうみんかんの外で、ちびっ子ずもうがありました。わたしは、だれとたいせんすることになるんだろう、と思いました。するとわたしは、ゆあねえねえとたいせんすることになりました。一つとし上なので、まけるかとも思いました。

一年生どうしのたいせんは、けっこうがつきませんでした。二年生どうしのたいせんは、けっこうがつきました。

そして、とうとう、わたしとゆあねえねえのばんがきました。はじまると、わたしは、十びょうでゆあねえねえをたおすことができました。かつことができ、とても楽しかったです。また、ちびっ子ずもうをしたいです。

(琉球新報 10月22日掲載)

台風の赤ちゃん

2年 まきし るか

今日、じどう朝会で羽ね田校長先生が「もうすぐ、台風の赤ちゃんがやってきます。」と言いました。羽ね田校長先生が、台風の赤ちゃんは六時間くらいで大人の台風になると言うっていたので、わたしはびっくりしました。ふつうは、赤ちゃんの次は子どもでしょう、と思いました。台風のせいちょうはとてもはやいんだと思いました。

朝は、ちょっとだけ雨がふって風がふいていました。でも、四校時になると、はげしく雨がふりました。帰る時には、雨は少しだけなのですが、そのかわり、風がとても強くなっていました。ランドセルがおもかったの、とばされなくてすみました。

台風は、なぜとつぜん、おきなわで赤ちゃんから大人になったんだろうと、気になりました。

台風は、赤ちゃんでも大人でも来ないほうがいいのに、と思いました。

(琉球新報 10月23日掲載)

スケボー

1年 こめすひなり

きょう、ちゃたんにいきました。スケボーやさんにいって、まえからきになっていたスケボーをかってもらいました。とてもうれしかったです。

それで、おとうさんとスケボーをしました。はじめてだったので、うまくできなかったです。じょうずになってオリンピックにでたいです。

べつのひのゆうがたに、しょうがっこうでスケボーをしました。かぜがふいていたのでやりにくかったけど、じょうずにのることができて、うれしかったです。

(沖縄タイムス 10月27日掲載)

協力する大切さ

5年 大保響輝

宿泊学習で心に残ったことは「野外炊飯」です。ぼくは、かまどの担当でした。最初、れんがでかまどを作り、小枝を立てて中に牛乳パックを入れ、火をつけました。火がついたら、火が消えないように、小枝の中に息を吹きかけました。

かまどの前はとても熱くて、たおれそうになりました。でも、みんながカレーの材料を一生けん命切っているのを見て、ぼくも頑張ろうと思い、火が消えないようにずっと息を吹きかけました。なべの中からあわがこぼれると出来上がりです。

みんなが喜んでくれたので、頑張ってたかったと思いました。みんなで協力して出来上がったカレーは、今まで食べたカレーの中で一番おいしかったです。

宿泊学習を通して、仲間と協力する大切さを学びました。

(琉球新報 10月27日掲載)